

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町 1-1 TEL.39-2322]



「ふるの演劇祭」における市内児童の演劇発表

平成25年
第3回

定例会

9月4日～9月13日
(10日間)

主な内容

- ・ 議決結果 P 2
- ・ 一般質問 P 3～8
11名の議員が市政全般について質問
- ・ 委員会報告等 P 8～11
総務文教委員会報告・保健福祉委員会報告
経済建設委員会報告
議会改革特別委員会報告
議会報告会
決算審査特別委員会設置
提出された意見書
都市事例調査
- ・ 議会日誌・編集後記等 P 12

平成25年 第3回 富良野市議会定例会議決結果表

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議案第1号	平成25年度富良野市一般会計補正予算(第7号)	9月13日	原案可決
議案第2号	平成25年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	9月13日	原案可決
議案第3号	平成25年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	9月13日	原案可決
議案第4号	平成25年度富良野市ワイン事業会計補正予算(第2号)	9月13日	原案可決
議案第5号	平成24年度富良野市水道事業会計剰余金の処分について	9月4日	原案可決
議案第6号	平成24年度富良野市ワイン事業会計剰余金の処分について	9月4日	原案可決
議案第7号	富良野市相談支援センター設置条例の制定について	9月13日	継続審査
議案第8号	株式会社富良野振興公社に関し、議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正について	9月13日	原案可決
議案第9号	富良野市税条例の一部改正について	9月13日	原案可決
議案第10号	富良野市国民健康保険税条例の一部改正について	9月13日	原案可決
議案第11号	富良野市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	9月13日	原案可決
議案第12号	富良野市公共下水道事業の設置に関する条例の一部改正について	9月13日	原案可決
議案第13号	富良野市公共下水道事業基金条例の一部改正について	9月13日	原案可決
議案第14号	富良野市下水道事業運営審議会条例及び富良野市水道事業経営審議会条例の一部改正について	9月13日	原案可決
議案第15号	富良野市立学校設置条例の一部改正について	9月13日	原案可決
議案第16号	北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について	9月13日	原案可決
議案第17号	富良野市表彰条例に基づく表彰について	9月4日	原案同意
議案第18号	富良野市公平委員会委員の選任について	9月4日	選任同意
認定第1号	平成24年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第2号	平成24年度富良野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第3号	平成24年度富良野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第4号	平成24年度富良野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第5号	平成24年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第6号	平成24年度富良野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第7号	平成24年度富良野市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第8号	平成24年度富良野市水道事業会計決算の認定について	9月4日	継続審査
認定第9号	平成24年度富良野市ワイン事業会計決算の認定について	9月4日	継続審査
報告第1号	平成24年度健全化判断比率について	9月4日	報告済
報告第2号	平成24年度資金不足比率について	9月4日	報告済
報告第3号	株式会社富良野振興公社の経営状況について	9月4日	報告済
報告第4号	株式会社ふらの農産公社の経営状況について	9月4日	報告済
報告第5号	株式会社空知川ゴルフ公社の経営状況について	9月4日	報告済
報告第6号	専決処分報告(平成25年度富良野市一般会計補正予算(第6号))	9月4日	原案承認
意見案第1号	地方税財源の充実確保を求める意見書	9月13日	原案可決
その他会議に付した事件	所管事項に関する委員会報告		
	・事務調査報告(総務文教)	9月4日	継続調査
	・事務調査報告(保健福祉)	9月4日	継続調査
	・事務調査報告(経済建設)	9月4日	継続調査
	議会改革特別委員会報告	9月4日	継続調査
	監査委員報告		
	・例月出納検査結果報告 (平成24年度5月分、平成25年度5月分～6月分)	9月4日	報告済3
	教育委員会報告	9月4日	報告済1
閉会中の都市事例調査について(総務文教・保健福祉・経済建設)	9月13日	許可3	

一般質問

天日 公子

〔民主クラブ〕

子宮頸がん予防対策は

問 早期発見に向けた対策と課題は。

答 満20歳以上を対象に子宮頸がん検診を実施。20歳から40歳までの5歳刻みの検診無料クーポン券の交付。検診体制では集団検診と個別検診の実施。個別検診の実施機関に今年度より富良野協会病院を加え受診機会の充実を図っている。無料クーポン券利用率30パーセントと低い状況にあり、受診拡大に向けた取り組みを進める。

問 今年4月から定期接種となつた子宮頸がん予防ワクチンを現在積極的に勧めない理由は。

答 本年6月14日に国の予防接種種・ワクチン分科会副反応検討部会において、ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛（とうふう）がワクチン接種後に特異的にみられ、副反応の発生頻度がより明らかになったから、国民に適切な情報提供

ができるまでの間、子宮頸がん予防ワクチンの定期接種を積極的に勧奨すべきでないと考え、市町村に勧告された。

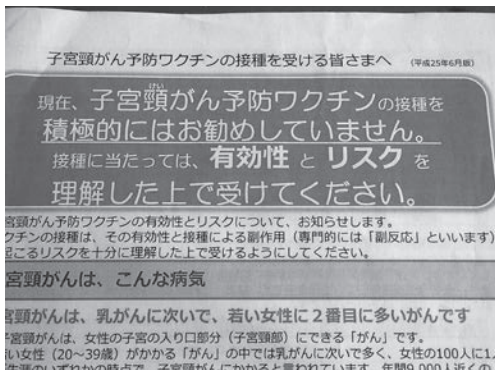
問 接種状況と副反応は。

答 平成23年度は中学1年生から高校2年生の女子550人1608回、平成24年度は111人303回の接種。接種対象者が未成年であることから保護者の同意を得て実施。副反応の報告は受けていない。

問 子宮頸がんの接種と同時に性教育が大事ではないか。正しい知識の啓発は。

答 広報・ホームページ・ラジオ等を利用し情報提供を図る。△その他の質問▽

◇介護保険事業について



子宮頸がん予防啓発パンフレット

小林 裕 幸

〔ふらの未来の会〕

居住人口の維持と少子高齢化対策は

問 若年層の流失対策のひとつ企業誘致の活動状況は。

答 製造業などの新たな誘致は非常に厳しい。福祉分野や農業の生産法人化や観光振興策による雇用拡大を推進している。また、市内企業のご協力を頂き「ふらの就職応援フェア」を開催している。

問 「婚活」の活動、イベントを積極的に行っては。

答 農業の担い手対策のひとつとして、農業青年を対象にアグリパートナー協議会で、パートナーとの出会いの機会の創設をはかるとともに、富良野、山部、東山の各地区に4名の女性相談員を配置し、婚活の支援を行っている。また、昨年度から「出会い」「交流」「企画実践の場」として「ふらの青年塾」の活動を通じ結果的に良きパートナーを見つけ出すことのきっかけ

くりが大切と考えており、その成果を期待する。結婚を直接的に意識させる活動やイベントは考えてはいない。

移住定住促進についての空き家活用対策は

問 空き家を活用するための「富良野の住まい情報バンク」登録拡大の取り組みの考えは。

答 連合会長会議などの機会を通じて空き家情報の提供を依頼している。また、「富良野の住まい情報バンク」の登録に関しては、今後とも情報提供の依頼や情報収集を行うとともに、市内関係機関と情報交換を行い、充実した情報発信が行えるように努めていきたい。



リフォームされた空き家住宅

渋谷 正文

〔ふらの未来の会〕

人・農地プラン

問 農地集積の取り組みは。

答 流動が見込まれる農地の所有者、耕作状況等に関する情報のリスト化については、それぞれの地域農業者が話し合いを通じてマップに落とす作業から始めなければならぬと考える。

土地利用の再編に向けた合意形成は、農業委員会と連携し地域に出向き、話し合いの場を作る考えであり、この議論を牽引するのは、農事組合長、農協理事等の地域リーダーと考える。地域の自主性を引き出し、地域の話し合いが円滑に進むよう必要な情報提供や議論の進行を関係団体間で連携し、支援したい。

固形燃料(RDF)を市内で活用する可能性は

問 ボイラー導入普及に向けた進捗状況と課題は。

答 専用ボイラーでの燃焼の一次試験を行い、安定燃焼と燃焼



製造された固形燃料 (RDF)

灰のクリンカ生成がないことを確認。固形燃料を専用ボイラーに定量供給するための粒度調整する破碎試験を行い、良好な結果を得ている。今後、装置全体としての燃焼試験を予定し、農業用ハウス等のエネルギー活用方法を検討する。

問 専用ボイラーの経済性は。

答 今回の試験では、民間ベークスでかなりコストが低減化され、維持管理も比較的簡便にできる商品提案があった。そうしたものを実際に使って燃焼試験を行い、排ガス等のクリア、維持管理の点を検討し進めていく。試験が始まった段階なので、今後の状況を十分把握しながら検討を進めたい。

大栗 民江

〔公明党〕

健康増進の取り組みは

問 「健康日本21」が今年度からスタートした。本市における健康寿命延伸の取り組みは。

答 健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限なく生活できる期間とされており、北海道の平成22年の健康寿命は、男性が70・03歳、女性が73・19歳。健康寿命の延伸には、健康増進・疾病予防に加え早期発見、重症化予防、介護予防や介護サービスなど様々な取り組みが必要。第二次計画にて、年代に応じて効果的に推進していく。

問 お子様連れでも安心して検診を受けられる環境を整備する一環として、開催側から希望を一言添えるなど検診時の託児についての考えは。

答 子宮がん検診は、20歳以上の女性を対象としていることから、子育て中の女性も受診する検診。保健センターの会場は乳幼児が遊べるスペースを設けて

あり、検診のお知らせの際には、子ども連れで受診できることを周知していきたい。

健康づくりをしやすい取り組みの「健康マイレージ」を

問 健康づくりをポイント換算し、利用券との交換や寄付など工夫してまちづくりや人づくりにつなげていくことが期待できる健康マイレージへの考えは。

答 健康マイレージ制度は、健康づくりへの取り組みをポイント化し、健康づくりへの積極的な参加を誘導する仕組み。既に取り組まれている自治体の実施内容や効果、経費、課題など参考とさせていただき、調査研究をしていきたい。



総合計画と健康増進計画

一般質問

今 利 一

〔市民連合〕

再生可能エネルギーの方向は

問 現行の化石燃料を再生可能エネルギーに変更すべきと考えますが、今後の再生可能エネルギーの方策について伺う。

答 平成21年度策定した「富良野市地域エネルギービジョン」に基づき、地域特性を活かした、需要地に近い再生可能エネルギーの活用を進めている。

現在、ペレットストーブ、太陽光発電の設置の補助、麓郷白鳥川小水力発電の整備等進んでいる。今後においても、導入可能なものから積極的に取り組む。

地域の自主的な活動を支援

問 東山地域の山岳景観や農業景観を活用し、農業と観光の結びつきによる地域活性化を目的に、東山地域観光振興計画は策定されたが、市が対応しなければならぬこと、地元との協議がどの程度進んでいるのか伺う。

答 東山地域観光振興計画は、

東山地域住民の方々との意見交換により策定された計画で、地域住民自身が主体となり活性化を進めている状況にある。

具体的な取り組みは、「ジビエと地元野菜を食す樹海の里ウォーキング」を6月に開催。このイベントは、「樹海の里盛り上げ隊」が主体となり市と連携して行う。

東山地域の自然景観と農業景観に加え、花によるイメージアップにつなげていくため、昨年度より東山地域の農業者の協力のもと、試験的に緑肥の「キカラシ」などの植え付けを行っている。現状として植え付け場所は点在が課題。今後関係団体と連携、支援していく。



老節布から見た大雪山風景

黒岩 岳 雄

〔ふらの未来の会〕

交通安全・事故防止策は

問 高齢者の運転による交通事故防止対策について伺う。

答 高齢者による交通事故は増加傾向にあり、運転者の高齢化に対する対策は重要課題と認識している。運転免許証の自主返納の支援策に取り組む自治体もあるが、本市としては現況を踏まえ、高齢者の視力や運転能力の低下に伴う運転の危険性と安全運転について関係機関等と連携し、指導・啓発に努め、また、支援事業についても検討する。

富良野ワインの販売促進と顧客づくりは

問 修学旅行でのワインぶどう収穫体験企画やアイスワインのぶどう収穫体験の企画について

答 修学旅行のワインぶどう収穫体験については、原料ぶどうの確保を優先する必要性や収穫時期のズレなど課題がある。収穫体験は富良野の観光の魅力に

なること、新たな顧客を広げることや将来の顧客としてリピーターとなってくれることなどを考えると、今後どのような体験がいいか、幅広く検討する。



アイスワイン用ぶどうの収穫風景

また、アイスワインは収穫のタイミングが難しいが、12月下旬から2月上旬の2か月間で実施していることから、この期間の宿泊者に対して富良野でしかできない体験メニューとして、宿泊施設、ふらの観光協会などと連携して情報提供をしていく。

△その他の質問▽

◇「スキー大会の検証について」として、全国高等学校選抜スキー大会（過去9回開催）の検証と今後の取り組み及び国際大会の開催について質問。

本間 敏行

〔ふらの未来の会〕

道路整備対策は

問 市道は未改良の道路が多いため排水の状態が悪く、近年の局地的豪雨から、市民の生命と財産を守るために、道路改良による舗装、排水整備の対策は。

答 市道の側溝等の道路排水施設の整備については、老朽化及び近年の気象状況変化による局地的な大雨により、側溝が溢れる箇所が増えていることなどから、地域からの整備要望も多く、早急な排水対策が必要と考えている。



桂木町市道

観光振興計画の具体的施策は

問 後期5カ年の、観光振興計画の観光戦略で掲げている、目指す姿の早期の具体化・実現に向けて、富良野市と市民の役割について具体的施策はあるか。

答 観光振興計画の基本的な姿勢のもと①滞在型・通年型観光の推進②受入環境整備③観光客の誘客④持続可能な観光振興を4つの柱に、関係機関・団体と連携し全市的に取り組み、市民の皆さんの生活や活動自体が、観光客のおもてなしにもなる。

国際理解教育の取り組みは

問 今後、子どもたちに対して、英語助手を活用した英語教育の取り組みについては。

答 外国語活動推進委員会を設置し、指導実績のある中学校英語教諭をコーディネーターとして配置しているが、小学校5、6年生の学級担任を中心に、外国語指導助手の助言も受け、経験の少ない外国語活動の、学習内容等の研鑽につとめる。

◇その他の質問▽
ラスパイレース指数について

広瀬 寛人

〔ふらの未来の会〕

富良野市観光振興計画の取り扱いは

問 前期の総括と課題は。

答 外国人観光客は震災以前の数値に戻っていない。修学旅行も減少しており、新たな体験メニューの提供や売り込み強化が重要。富良野の特色を活かした具体的な滞在プログラムの発信不足、インフォメーションセンターのワンストップサービスの充実、市民・観光関係者・ガイドなどの人材育成が課題。

問 観光地づくり推進事業の取り組みは。

答 観光税等の導入は、総合計画後期5カ年の中で検討しBIDやCIDは今後の参考として情報収集に努めたい。

問 24時間対応・バリアフリートイレに対する見解は。

答 通年型24時間対応トイレは、治安上に課題があり夜間を閉鎖した経過があるが、観光客や地域住民の利便性を高めるこ

防災・防犯対策

とは重要で課題も多いことから状況に照らし合わせて検討したい。バリアフリートイレについても重要と認識しているので公共施設と民間施設も含めた現状の調査をしたいと考える。

問 ゲリラ豪雨対策は。

答 時間降雨量22ミリを整備水準として、道路排水整備している。地盤が低いなど浸水に対する安全度が低い地区は、優先的に排水整備を進める検討が必要と考える。



豪雨時の排水路

問 空き家対策は。

答 調査を実施し14戸を把握し適切な管理に向けた課題整理を行っている。

関野常勝

〔民主クラブ〕

市道及び橋梁の整備は

問 市道、交差点等の危険箇所を把握しているのか。また、整備計画は。

答 市が管理する道路延長は、681.8kmで、路線数は1,483箇所であり、定期的な道路パトロールにより、危険箇所の把握を行い、交通事故を誘発させないように舗装の補修、街路樹の剪定など道路施設の整備を実施している。冬季においても、交差点のすべり防止の為、危険箇所として市街地62箇所、



五区山部線と東20線の交差点

農村部6箇所の交差点に砂まき等を実施している。

問 危険箇所を想定する中で、幹線である5区山部線と道道山部北の峰線の交差点がある。本年7月に5区山部線の事業が予算化されているが、この交差点で、さしかかる部分の勾配を緩やかにすべきと考えているが、配慮した計画はないのか。

答 本年8月30日に5区山部線舗装改修工事が発注済となつている。過去にも人身事故が起きていることから、この工事の中で勾配緩和を計画実施する。

問 災害における橋梁の耐久性と地震時に通行を確保すべき道路に対しての修繕計画は。

答 市道橋長寿命化計画に基づき、緊急性、地震時における橋梁の健全度を把握し、優先順位の高いものから修繕を行う。現在緊急を要する橋梁は、東5条橋、扇山橋の2橋であり、市が指定する地震時に通行を確保すべき道路にかかる橋梁5橋についても、優先的な順位での修繕工事を計画し、災害時の緊急輸送道路としても利用可能な道路整備を進めていく。

萩原弘之

〔民主クラブ〕

市有財産の利活用は

問 旧山部支所解体後の利用は。



旧山部支所跡地

答 山部地区総合振興協議会から「駐車場として利用ができ、イベント広場としても整備を願いたい」と要望をいただいている。地域にとって満足してもらえるような利活用を検討する。

問 未利用の土地の処分に対する考え方は。

答 未利用財産を検討する利活用方法としては、行政目的での利用や地域法人への貸与や譲渡、他の公共機関への貸付や譲

渡、民間への貸与・売却を検討している。貸付や売却が決定された土地については、地域からの要望があれば貸付けていく。また、売却については民業を圧迫しないように適正価格で販売をし、第一には価格を提示した住居用に分譲しこの後はオークションなどで売却に取り組む。

公営住宅の建替え・営繕

問 公営住宅の階層・構造の考え方は。

答 敷地面積や住環境の観点から2階建とし入居者の世帯構成を考慮し小規模な2LDKタイプの建設を行う。また、入居者のニーズは多種多様であるが、低層部は高齢者世帯等を優先とし、将来の団地像を意識して建設をしていく。

問 建設計画の見直しと既存住宅の長寿命化の方向性は。

答 将来の人口推計や民間住宅を含めた市場のストック状況等を想定して建替え・改修の計画を進める。

今後多様な社会環境の変化に応じ、効果的な公営住宅の供給・改修をしていく。

菊地敏紀

〔民主クラブ〕

ワイン事業の現状と将来展望

問 ぶどう耕作者戸数・面積の推移、新規耕作者の育成は。

答 H25年は27戸、47.1haと栽培農家の高齢化、担い手不足から戸数、面積ともに減少している。原料確保は最重要課題であり、支援事業の改正を行い植栽しやすい環境を整え、若手生産者の意欲を高める目的でセミナーや個別訪問を実施している。

問 原料ぶどうの品質向上対策及び指導体制は。

答 原料ぶどうは、補完作物として栽培され、生産者によって品質、収量に差が出ている。担当職員を配置し、状況は各農家へ随時ファックスで情報提供を行っている。

問 種苗センターの活用は。

答 新たな品種の可能性を探ると共に、原料確保のために優良挿し木苗の生産、高収量、高糖度のための栽培技術を習得し農家に普及している。そのために



富良野市種苗センター

は専門知識、技術を習得するために長期的な事業経営の視点に立った人材育成が必要と考える。

問 ワイン事業の将来展望は。

答 富良野ワインは、特産品として安全で高品質製品づくりを進めてきた。農業経済振興においては、農業の6次化、富良野ブランドの先駆者として、観光振興の中核的施設として順調に推移してきた。H23年将来の方向性を検討するため、監査法人による経営分析を実施している。ワイン事業は畑作振興、市を代表する特産品として、雇用の確保、地域経済の活性化に寄与していることから、今後とも安定的な原料確保を図り品質向上を進め30万本体制を維持していく。

総務文教委員会

■調査第1号「地域コミュニティの現状把握と課題について」

第2回定例会に許可を得ました「地域コミュニティの現状把握と課題について」の調査経過について報告をいたします。

本委員会では、防災・防犯の視点からも地域住民が互いに助け合う交流が必要と考え、主にコミュニティ活動推進員の活動実態と、コミュニティ活動推進状況の2点について着目し、現状把握に努めました。

まず、コミュニティ活動推進員の活動実態については、現在ある32連合会に対し、コミュニティ活動の助長及び地域の振興を図る目的で、市職員がコミュニティ活動推進員として配置されています。その存在は、連合町内会長会議などを通じ徐々に知られてきていますが、地域と連携する機能を十分発揮するためには、要綱や規定を見直し活動内容をよ

り明確にすることや、コミュニティ活動推進員同士の情報交換の場を確保するなど、職員が地域に入って活動しやすい体制を整えることが必要と課題を認識したところです。

2点目の、地域コミュニティ活動推進状況については、各連合町内会の活動内容と行事への住民参加状況をはじめ、町内会加入に関して転入者及び市内転居者への加入案内の流れなどについて調査を進めました。現在、住民基本台帳世帯数を基に割り出した本市の町内会加入率は約85%であり、本市ばかりでなく、近年は全国的に低下している状況にあります。

これには、個人の価値観の違いもさることながら、個人情報取り扱いに関する課題が大きく影響していることを認識したところです。

本委員会では、町内会活動は、最も身近な住民自治の機関と捉え、レクリエーションなどの交流を通じて互いの親睦の輪を広げ、地域のルールを守り、安心して暮らすことのできる地域を住民自らがつくる、活気溢れる

委員会の動き

地域コミュニティの構築を期待しています。委員も精力的に町内会役員の意見を聞き、その意見も参考にしながら協議を進めています。このようなことから、地域住民が主体となったコミュニティ活動を行政が適切に支援し、地域と行政がしっかりと協力関係を築くため、本市の実情を踏まえたコミュニティのあり方について引き続き検討課題の整理を行い、他市の事例も参考に議論を深めたいことから継続調査を求めます。

保健福祉委員会

■調査第2号「地域医療計画と医師確保について」

保健福祉委員会より、平成25年第2回定例会において継続調査の許可を得ました。調査第2号「地域医療計画と医師確保について」の調査経過について報告いたします。

本地域医療計画は、北海道保健医療福祉計画を基本とし、富良野市の基本的方向を指針として示すことにより、具体的施策を市民に示すものとして策定し、

これまで運用されているところですが、基本となる計画が、北海道医療計画として平成25年に改訂されており、地域医療計画との整合性について議論を重ねているところです。

また、医師確保については、北海道で策定された「自治体病院等広域化・連携構想富良野地域行動計画」による分析をもとに議論を重ねながら、8月5日には、富良野医師会との懇談を行い、地域センター病院における医師の勤務実態や、将来的な医師確保対策の提言を受けたところです。

今後は、都市事例調査の実施により、さらに調査を深めたいことから、今回は中間報告として継続調査を求めます。

経済建設委員会

■調査第3号「農業振興について」

第2回定例会において継続調査の許可を得ました。調査第3号「農業振興について」の調査経過について中間報告をいたします。

経済建設委員会では、富良野市の農業振興について、担当部に富良野市の農業概要、市の農業振興に関する各種施策の現状と課題、富良野市の農業及び農村基本計画の検証並びに新たな計画策定の進捗状況についての資料の提出と説明を求め、調査をさせていただきました。

本委員会では、富良野市の基幹産業である農業について、まちづくりの中における農業振興の位置づけを確認し、富良野らしい農業とは何か、また、それを目指すべく富良野市の施策としてあるべき方向性をテーマに議論を進めています。

現在の富良野の農業においては、基本計画を検証する中で、農家戸数、農業就業人口は試算していた推計よりも減少していない状況にあります。新規就農者数は推計より減少し、団塊世代の農家子弟の就農が一段落したことで、本格的な減少局面に入っています。また、農家一戸当たりの経営耕地面積は増加傾向にあり、現在の基本である家族経営で管理できる経営規模の限界に近づいているものと認

識しています。農家後継者への円滑な経営継承、新規就農者の確保、そして、そこへの適切な農地の流動化が進まなければ、耕作放棄地は今後も増え続け、富良野の観光資源である農村景観の保持に大きな影響を与えない状況となっています。

さらに、国際情勢においてもTPP交渉への参加や日豪EPAの問題など不確定な要素が多く大変厳しい環境にあります。

このような状況において、本委員会では国の施策に左右されない富良野らしい農業、つまり土地利用型や集約型、法人経営など多様な経営形態を包含した中で、こうした危機を乗り切るべく富良野農業の経営スタイルの確立について幅広く議論を重ねてきています。

今後は、都市事例調査を実施し、ブランド形成や農産物の付加価値向上、担い手・後継者の人材育成、他産業との連携や農村問題など多面的な調査の中から、本市のまちづくりの視点からの農業振興についてさらなる議論の掘り下げが必要なことから継続調査を求めます。

議会改革特別委員会

■議会改革の取り組みについて

現在、具体化した議会活動、議員活動、情報公開と市民参加の推進、議会広報の充実、自由討議による合意形成、議会改革の推進、議員研修の充実強化、議員倫理の明確化などを盛り込んだ議会基本条例（案）の策定精査作業を行い、制定に向け協議を重ねています。

また今回、市民と議会が自由に情報及び意見交換を行う「まちづくりトーク」の開催を目指し、富良野医師会、富良野観光協会と協議を行いました。議会代表者、所管委員との懇談会形式の開催で、「医師確保への課題」、「富良野観光の現状と今後の課題」について有意義な意見交換が出来、市民皆さんが活用しやすい「まちづくりトーク」実施に向けた課題整理の機会になる懇談会になりました。

議会報告会は、8月5日朝日町会館から始まり南コミセン、麻町児童センター、北の峰、栄

町、東春各コミセンで開催し多くの皆さんに参加いただきました。議会側からのテーマとして、「議員定数について」の意見では、現状維持、削減すべき、増やすべき、有識者会議での検討など多くの意見が出されました。今後も議会報告会で市民の皆さんと意見交換しながら議論を深めていきます。

そのほか、地域コミュニティ推進委員について、町内会の未加入の現状、未加入者増加に伴うごみ分別課題、高齢化に伴う地域課題など多くの意見、課題が出されましたが、これらについては議会活動の中で精査し検討を行います。以上、中間報告といたします。



医師会との意見交換会

議会報告会

■7会場で議会報告会を開催

◇各会場では、次の事項について、幅広く意見や要望として質疑が交わされました。

【朝日町会館】

・ 13名出席

・ 議員定数、空き家対策、駅前駐車場、除雪・排雪改善、プレミアム商品券、防災など。

【南コミセン】

・ 16名出席

・ 議員定数、墓地、議会広報、介護予防・予防医療、空き家住宅利用、リフォーム補助金、HPの更新など。

【麻町児童センター】

・ 8名出席

・ 議員定数、地域コミュニティ推進員、医師確保要望など。

【北の峰コミセン】

・ 5名出席

・ 市有財産処分、老人ホーム、バイパス道路、河川問題、選挙制度、議会報告会など。

【栄町コミセン】

・ 11名出席

・ 議員定数、地域コミュニティ推進員、ふれあいサロン、選挙配付物、除雪、社会保障制度など。

【東春コミセン】

・ 11名出席

・ 防災計画、議員定数、ごみの分別など。

【西地区コミセン】

・ 9名出席

・ 一般質問人数、議員定数、補助正予算、東郷ダム、公営住宅、耕作放棄地、民生委員、議会視察、企業誘致など。

※この中で出された、行政に対する要望や質疑については、持ち帰り担当に伝達、確認後会長を通じ回答しています。



東春コミセン

平成24年度 決算審査特別委員会設置!

◇平成24年度一般会計外各会計決算が、監査委員（松浦惺氏、菊地敏紀氏）の審査を受け、認定を受けるため第3回定例会に提案されました。

【一般会計・特別会計】

- ・一般会計歳入歳出決算
- ・国民健康保険特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・老人保健特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・公設地方卸売市場事業特別会計
- ・公共下水道事業特別会計
- ・簡易下水道事業特別会計

【企業会計】

- ・水道事業会計決算
- ・ワイン、事業会計決算

◇本議会では、各会計の決算審査のため、議長と議会選出監査委員を除く議員15名による特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

なお、初日の定例会終了後に

委員会を開き、委員長に広瀬寛人委員、副委員長に萩原弘之委員を選出しました。
◇また、9月13日の定例会閉会后に委員会を開催し、各所管にかかる審査日程及び決算審査に必要な審査資料を決定するとともに、24年度決算の総括説明を受けました。

【各所管審査日程】

11月6日(水)	保健福祉部 看護専門学校 経済部
11月7日(木)	建設水道部 教育委員会
11月8日(金)	総務部 歳入総括
11月22日(金)	予備日

右記日程にて傍聴できます。

可決された意見書

◇第3回定例会に議員提案された意見書は次の1件です。
意見書は可決後、直ちに関係機関に送付しました。

●地方税財源の充実確保を求める意見書

(今 利一議員 外6名)

〔概要〕2013年の地方財政計画において、政府は国の政策目的の実現のために、地方公務員の臨時給与減額に係る地方交付税減額を押し進めた。このことは、地方財政制度の根幹を揺るがすものであり、憲法が保障する地方自治の本旨から見て容認できるものではない。地方交付税は地

方の固有財源であり、地方交付税法第1条に規定する「地方団体の独立性の強化」、「地方行政の計画的な運営」に資するものでなければならぬ。この法の目的を実現するため、地方財政計画・地方交付税については、国の政策方針のもとに一方的に決するべきではないとして、公共サービスの質の確保と地方自治体の安定的な行政運営を実現するため、2014年度の地方財源の充実確保に向けて、地方交付税の充実確保について5項目及び地方税源の充実確保等について7項目の意見を付し、地方税財源の充実確保を求める意見書。

各常任委員会では、議長の許可を受け閉会中次の都市事例調査を行います。

■都市事例調査

委員会名	調査目的	調査地	調査日
総務文教委員会	地域コミュニティの推進状況と課題について	室蘭市 南幌町	10月上旬
保健福祉委員会	医師確保対策について	留萌市 羽枝町	10月上旬
経済建設委員会	農業振興について	狩野山町 石栗二セコ	10月中旬

議会日誌

8月

- 1日・総務文教委員会
- 5日・議会報告会（朝日会館）
- 7日・議会報告会（南コミセン）
- 8日・総務文教委員会
 - ・保健福祉委員会
 - ・経済建設委員会
 - ・議会報告会（麻町児童センター）
- 9日・議会報告会（西地区コミセン）
 - ・議会報告会（北の峰コミセン）
- 19日・保健福祉委員会
 - ・経済建設委員会
 - ・議会改革特別委員会
 - ・議会報告会（栄町コミセン）
- 27日・総務文教委員会
- 28日・第3回定例会告示日
- 29日・議会報告会（東春コミセン）
- 30日・議会運営委員会

9月

- 2日・経済建設委員会
- 3日・議会運営委員会
- 4日・第3回定例会（1日目）
 - ・議会広報特別委員会
 - ・決算審査特別委員会
- 9日・第3回定例会（2日目）
- 10日・第3回定例会（3日目）
 - ・保健福祉委員会
- 11日・第3回定例会（4日目）
 - ・議会運営委員会
 - ・議員協議会

13日・第3回定例会（5日目）

- ・決算審査特別委員会
 - ・総務文教委員会
 - ・経済建設委員会
- 20日・議会改革特別委員会
- ・総務文教委員会
 - ・保健福祉委員会
- 27日・議会広報特別委員会

10月

- 1日～2日
- ・総務文教委員会都市事例調査
- 2日・保健福祉委員会
- 3日・経済建設委員会
- ・議会改革特別委員会
- 4日・議会広報特別委員会
- 7日～9日
- ・保健福祉委員会都市事例調査
- 11日・総務文教委員会
- 15日・沿線議長会議員研修会
- 16日～17日
- ・経済建設委員会都市事例調査
- 18日・議会広報特別委員会
- 22日・議会改革特別委員会
- 23日・保健福祉委員会
- 24日・広域連合議会告示日
- 25日・総務文教委員会
- 30日・経済建設委員会
- 31日・広域連合議会

議会とまちづくりトーク （一般会議）をしませんか？

「議会とまちづくりトーク」とは、市民と議員が自由に情報や意見を交換するための会議の名称です。富良野市議会では要綱を定め、2月1日から運用することにしました。是非、この機会に議会と、富良野のまちづくり等について意見交換をしませんか！希望する市民、市民団体、NPO等が、申込書を議長に提出していただくと、代表者会議において内容を審査し開催を決定いたします。

実施要綱、申込書様式など手続きの詳細については、富良野市議会ホームページをご覧ください。議会事務局（☎39-2322）にお問い合わせ下さい。

傍聴してみませんか

平成25年第4回市議会定例会の
開会予定日をお知らせします。

【日程】

- 12月 3日(火) 開会日
- 12月 9日(月) 予備日
- 12月10日(火) 一般質問
- 12月11日(水) 一般質問
- 12月13日(金) 最終日

※開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

※多くの方の傍聴をお待ちしています。

お問い合わせ：議会事務局

☎39-2322

編集後記

▼10月の台風通過に伴い、大雪と風雨による施設の倒壊などがありました。また、地域によっては長時間停電が続き、とてもつらい時間帯を過ごされた多くの市民がいらつしゃったと思います。災害に遭われた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

▼9月の定例会は9月13日に終了し、決算・新設条例の付託案件を除き、提出案件はすべて可決されました。その中には、富良野東部地区の集中豪雨災害の補正予算も含まれています。秋の収穫を目前にして、農作物の被害が多々見られました。

▼夏場の高温、干ばつから一転して、8月末からの降雨は、農業を営んでいる方にとって、あと1ヶ月早く降ってほしかったと思ったことだと思います。

▼秋も深まり、野山も色づいてきました。黄金色に輝いていた水田も収穫が終わり、晩秋の景色が深まってきました。

▼食欲の秋、今年もまた、ふらのの新米をおいしくいただきました。

議会広報特別委員会

委員 石上孝雄

